

2024年の社会ニーズに対応した 材料・工法

年が明けて2024年、新型コロナウイルスの感染拡大はようやく落ち着きを見せたものの、社会は「元通り」ではなく、さまざまな面で変化している。衛生面の意識は相変わらず高く、在宅時間の増加は「住まい」のあり方を見直すきっかけにもなった。また昨今、各地で発生する異常気象は、人の生産活動が自然環境に及ぼす影響を考えさせ、産業界にもその対応が迫られている。建築界では、時間外労働時間の上限規制適用猶予期間が3月で終了するなど、現場における人手不足が一層懸念されている。高経年のマンション、老朽化したインフラの増加は、改修技術のさらなる進化を必要としている。

もちろん、建築・建築材料の業界では、そうした様々なニーズ、要求に対応するため、製品の開発やシステムの構築が行われている。ここでは、メーカー今年「一押し」の材料についてレポートを掲載。今年のトレンドを考察する。

編集部

● 二酸化炭素削減と長寿命化に貢献する 低炭素対応型塗料

菊水化学工業
林 昭人 … 60

● 粉塵・騒音を発生させない粘着層付アクリル 樹脂テープによる外壁ひび割れ補修の新工法

田島ルーフィング
今井 浩樹 … 62

● プライマーレスの2工程で完了 1液水性の金属面用遮熱塗料

東日本塗料
佐藤 陽平 … 64

● コンクリート・モルタルの風合いを 生かしつつ着色・保護・強化し、 ラフに仕上げる床用水性ステイン塗料

ヤブ原産業
坂本 昌宏 … 66

● 2024年の社会ニーズに対応した 材料・工法データシート …… 69

